

新年のごあいさつ



越前町長

関 敬 信

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、ご健勝で輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、旧年中に賜りました心温まる励ましとご叱正に感謝申し上げますとともに、町政の推進に格別のご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、東日本大震災や福島第1原発事故からの復興・復旧が緒に付いたばかりの中で、昨年も日本は文字どおり災害列島さながらの様相を呈し、頻発する地震や豪雨災害、台風水害や竜巻災害など、防災対策の重要性を再認識した一年でした。本町といたしましても、敦賀半島の原子力発電所から30キロ圏内に含まれることから、原子力災害・自然災害にも対応した地域防災計画を早急に見直し、避難路の整備や防災倉庫・備蓄物資の確保など、速やかに防災対策・減災対策を進めてまいります。

一方、国内の政治に目を向けてみま

うことを自主的かつ積極的な議論を交わしながら進められ、将来に向けて大きな期待を抱かせるものとして心強く思っております。

合併して8年になりますが、人口の減少は本町の大きな課題の一つです。定住人口の増加を図るため、若者に選ばれるまちづくりを進め、町内外に情報発信をしてみたいと考えています。また、地域資源を活かして交流人口を増やし賑わいのあるまちづくりを進めるとともに、雇用の場の確保のため企業を誘致し、産業全体の活性化を図ってまいります。

財政面では、合併当初と比べますと、新たな起債の抑制や町債の繰り上げ償還などにより町財政は改善されつつあります。将来を見据えた財政計画に基づく事業の実施など、引き続き行財政改革を進め、将来を担う若い世代に負担がかからないよう足腰の強い越前町を目指していきたいと考えています。

最後に、新しい年2013年が、皆様にとりまして輝かしい飛躍の年となりますよう祈念申し上げます。併せて、我が町の町政推進に対し、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



越前町議会議長

山 本 清 道

明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を迎え、健やかに過ごされたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年中は、町議会の活動に対し、皆様方の温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、12月16日には第46回衆議院議員総選挙が行われ、民主党にかわり、自民党が第1党となり、今後の日本のかじ取りを行うことになりました。

日本を取り巻く世界情勢は、円高ドル安の一層の進展などにより日本の貿易収支は31年ぶりに赤字となり、国内失業率も未だ改善されず、厳しい状況が続いております。

また、原発問題、沖縄県尖閣諸島の国有化をめぐる日中関係の悪化、韓国との竹島領土問題など多くの問題が山積しており、国民生活に不安のある状況に対して、一刻も早い対策が求められ

た一年でした。

このような状況の中、町政の取り組むべき課題は、治安や防災をはじめ、少子高齢化、教育、福祉、雇用、環境など複雑多岐にわたっており、本町においては引き続き行財政改革が実行されております。財政の健全化に向けて継続的に新発債の抑制を実施したことなどにより、健全化判断比率などの財政指標は良好であり、町財政は改善されつつあります。

しかしながら、長引く景気の低迷により自主財源の根幹をなす住民税などの減収、加えて町税の未納が課題となつていきます。交付税への依存体質から脱却するのは到底無理なことから、中長期的な財政計画が必要であり、今後とも、議会の機能と独自性を発揮し、行財政改革などを監視して参る所存であります。

町議会といたしましても、昨年9月議会定例会におきまして、議会改革の

一環として、議員定数を20人から14人に削減することを全会一致で可決しております。現下の厳しい社会経済状況を踏まえ、行財政改革の観点から、更には、本町の人口が減少傾向にある状況を鑑み、本年度3月に行われる選挙から適用することとしました。

議会は議決機関として大きな権限と責務を担っております。議員定数の削減が責務遂行の妨げとならないよう議会活動に努め、町民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、町政発展のために活動し、町民の皆様への負託に応えていく所存であります。

本年は、私も議員の改選の年でもあります。来る3月3日には14人の新しい議員が誕生します。町民の皆様には引き続き町議会へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭にあたり、町民の皆様への益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。